

英国金融政策（2024年8月）

昨年8月の最後の利上げから1年を経て、利下げに転換

2024年8月2日

票決は5対4の僅差、「微妙な決定」で利下げを支持した委員も複数

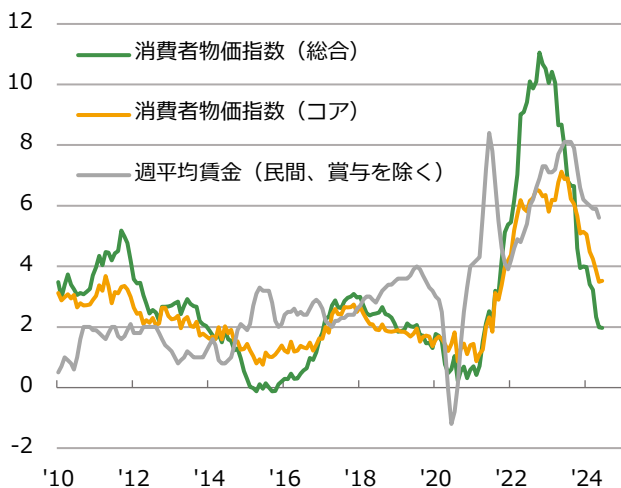
BOE（イングランド銀行）は7月31日（現地、以下同様）に終了した金融政策委員会（MPC）で、政策金利を5.25%から5%に引き下げる決定をし、8月1日に発表しました。昨年8月の利上げを最後に政策金利は据え置かれていました。ベイリー総裁と3名の副総裁を含む5名が利下げを支持、ピル・チーフエコノミストを含む4名が据え置きを支持と、票決は二分されました。しかも、利下げを支持した5名のうち、据え置きとの間で「微妙な決定」であった委員が複数名いて、極めて拮抗した判断であったことが分かります。前回6月のMPCで利下げに一段と傾斜していた様子が窺えたことや、最近の経済データに大幅な上振れがなかったことから、今回のMPC直前の市場の利下げ織り込みは50%をやや上回っていました。

BOEは利下げの理由として、インフレ率の低下とインフレ期待の正常化が引き続き賃金と価格の伸びを抑制すること、GDPが潜在成長率を下回るなか需給の弛みが生じ労働市場がさらに緩和すること、引き締め的な金融政策により国内のインフレ圧力は今後数年で消失すると見込まれることを挙げています。

一方、既往の高インフレがもたらす二次的影響の長期化、需要の想定以上の強まり、自然失業率の上昇等の構造変化などに伴うインフレの上振れリスクを考慮しつつ、会合毎に適切な金融政策を決定する方針が声明文に明示されました。当社は、インフレ率が中期的に目標値の2%に収束するとのBOEの見通しは当面不変と判断し、2025年末までを通じて四半期毎に0.25%ptの利下げを実施すると予想しています。

英国の消費者物価指数と週平均賃金

(前年同月比、%) (2010年1月～2024年6月)



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
※週平均賃金は3カ月移動平均で2024年5月まで
(出所) 英国統計局

英国の金利と為替

(%) (2020年1月初～2024年8月1日) (米ドル/ポンド)



※政策金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。